

令和3年度 女性活躍推進関連の主な実績

1,374億円

働く場における女性活躍の推進

188億円

- テレワーク等普及推進事業 78億円
国家戦略特区の取組として、テレワーク推進施策に関する情報提供、相談、助言等の支援をワンストップで提供するテレワーク推進センターを国との連携により運営するとともに、都の働き方改革をはじめとしたライフ・ワーク・バランス推進の拠点を併設する。また、テレワークを一層普及していくため、都内各地での体験型セミナーの実施や事例発信など多様な支援を展開していく。
- 働くパパママ育休取得応援事業 9億円
従業員に希望する期間の育児休業を取得させ復帰させた企業への支援、男性の育児休業取得奨励といった支援を行うことで企業の職場環境整備を推進する。
- 女性の活躍推進加速化事業 1.5億円
職場における女性の活躍推進の中心となる者に対して、取組を推進するための実践的な知識の付与や、企業間・従業員間交流の機会を提供するとともに、責任者の設置、行動計画の策定、計画に定めた目標達成までのプロセスを支援する。
- テレワークを活用した女性の雇用拡大事業 0.6億円
テレワーク等の柔軟な働き方を希望し、子育てと仕事の両立を図る女性を対象として、テレワーク可能な企業等を集めた合同就職面接会等による支援を行う。

子育てや介護に対する支援

953億円

- 保育サービスの拡充 227億円
認可保育所や認証保育所、認定こども園、小規模保育、家庭的保育など、地域のニーズに応じた多様な保育サービスの整備を推進する。
- とうきょうママパパ応援事業 26億円
妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を提供するため、子育て世代包括支援センターの設置促進を図るとともに、妊婦全数面接や育児パッケージ配布・家事育児支援等を行う区市町村の取組を支援する。
- 男性の家事・育児参画に向けたマインドチェンジキャンペーン 0.3億円
男性の家事・育児参画に向けた社会全体に向けたマインドチェンジを促すため、当事者だけでなく企業、職場の上司、同僚、親、等あらゆる主体に向けた普及啓発コンテンツを発信する専用サイトを作成し、SNS等を活用し発信する。

あらゆる場における女性の活躍推進に向けた支援

233億円

- TOKYOメンターカフェ 0.3億円
悩みや不安を抱える女性が、仕事や子育て等の経験を持つ助言者「都民メンター」に気軽に相談できる場をネット上で提供。